

2019年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2201411	住生活論 Theory of Living Arrangement	丹羽 誠次郎	専門	2	必修	1年 前期
科目の概要						
この科目では、生活の器である私たちの「住まい」のかたちを規定している様々な要因について考えることから「住む」ことの意味を問い直していく。本科目の学修は、人々の日常生活を住の面から支援することのできるようになるための基礎に位置付けられる。15週の授業では、まず、現在の私たちの住様式に大きく関わる近代以降の日本の住宅の変遷を概観したのち、家族が安全、快適に暮らすために住まいとまちに求められる基本的な条件を理解していく。また、今後さらに必要となる環境に配慮した住まいや多様な生活スタイルに対応できる住まいのあり方についても理解していく。						
学修内容			到達目標			
① 現在の私たちの住様式に至るまでの、日本の住まいの変遷を学ぶ。			① 現在の自分たちの住まいを日本の住まいの伝統的な特徴と比較し説明できる。			
② 安全に生活するために住まいに求められる条件を学ぶ。			② 安全性を保証するために住宅に必要とされる条件を説明できる。			
③ 快適な生活を送るために住まいに求められる条件を学ぶ。			③ 快適な生活を送るために住宅に必要とされる条件を環境や社会との関係から説明できる。			
④ 環境や多様な生活スタイルに配慮した住まいのあり方を学ぶ			④ これからの住宅のあり方を環境への配慮や多様な生活スタイルとの関係から説明できる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	配布資料を読み、文献を調べて、予復習をしたうえで授業に臨んでいる。				
	働きかけ力					
	実行力	教員からの指示に従うだけでなく、より高い目標を設定し、学修に取り組むことができる。				
考え抜く力	課題発見力	授業で得た知識を、これまでに獲得した知識あるいは自身の住まいや住まい方と結びつけながら考え、理解することができる。				
	計画力					
	創造力	複数の観点を総合しながら、豊かな住まいのあり方について考えることができる。				
チームで働く力	発信力	学修した内容に自分の見解を加味しつつ、的確な文章で表現することができる。				
	傾聴力	意見交換の場面で、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	無断欠席、遅刻、授業中の居眠りや私語などを授業に支障をきたす行為を慎み、円滑な授業運営に協力できる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト：使用しない。必要な資料は授業内で配布する。						
参考書：授業内で適宜紹介していく。						
他科目との関連、資格との関連						
住関連の科目（インテリアデザイン、住文化論、住居管理論、住宅計画）のイントロダクションに位置する科目であり、卒業と教職の必修科目となっているので必ず受講し、単位を取得すること。						
学修上の助言			受講生とのルール			
授業の内容を、つねに自分の住まいや住まい方と結びつけながら考え、理解するように取り組んでほしい。			各回の授業の終了時に、次回授業の資料を示すので、事前に調べてくること。また、授業内で紹介する参考文献についても積極的にあたってほしい。 6回以上の欠席（遅刻は3回で欠席1回分とする）は科目放棄として扱う。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
筆記試験	60	①	✓	※学期末に以下の点についての理解を確認するための筆記試験を行う。 用語や数値等を単に暗記しているだけでなく、その意味が正しく理解されているか、自分の言葉で説明できるかを問う。 ・現在の日本の住様式を伝統的な特徴と比較し説明できる。 ・快適な生活を送るために住宅に必要とされる条件を環境や社会との関係から説明できる。 ・安全性を保証するために住宅に必要とされる条件を説明できる。 ・これからの住宅のあり方を環境への配慮や多様な生活スタイルとの関係から説明できる。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤		
小テスト		①		
		②		
		③		
レポート	30	①	✓	※科目の前半と後半で各1課題ずつの小レポートを課す。 課題1 「近代以降に日本の住宅が得たものと失ったもの」を挙げ、それに対するあなたの意見を述べなさい。(15点) 課題2 自分の現在の(もしくはこれまでの)『すまい』の長所・短所を挙げながら、豊かな生活を送るために『すまい』にもっとも求められるとあなたが考える条件を述べなさい。(15点) ※レポート課題の評価にあたっては以下の点を評価のポイントとする。 ・授業内容が理解できている。 ・論旨が明快であり、確かな根拠に基づき、自身の言葉で説明している。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤		
成果発表 (口頭・実技)		①		
		②		
		③		
作品		①		
		②		
		③		
社会人基礎力 (学修態度)	10	①		【主体性】配布資料や文献にあたり、予復習をしたうえで授業に臨んでいる。 【実行力】毎時おこなう振り返りで自身の学修状況を確認し、そこからさらに高い目標を設定できる。 【課題発見力】授業で得た知識を、これまでに獲得した知識あるいは自身の住まいや住まい方と結びつけながら考え、理解することができる。 【創造力】複数の観点を総合しながら、考えることができる。 【発信力】学修した内容に自分の見解を加味しつつ、的確な文章で表現することができる。 【傾聴力】人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。 【規律性】無断欠席、遅刻、授業中の居眠りや私語などを授業に支障をきたす行為を慎み、円滑な授業運営に協力できる。提出物については期限を守ることができる。
		②		
		③		
		④		
		⑤		
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
・授業内で出された課題から関連項目まで調べて授業に参加している。 ・授業内容が十分に理解できており、かつ用語や数値の意味を自分の言葉として説明することができる ※上記2項目に加えて、筆記試験の解答・レポート中に確かな根拠に基づいた自身の価値観を提示できた場合 S(秀)評価とする。	・授業内で出された課題がすべて予習されている。 ・授業内容全体が理解できており、用語や数値の意味が説明できる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	はじめに／ウチとソト 「住む」という生活行為について考える。 世界の住まい 風土、文化と住まいのかたちの関係について考える。	講義	衣生活・食生活と比較しながら「住む」ことについて考えられる。 世界各地のヴァナキュラーな住宅の事例に関心を持てる。	(予習)シラバスを読み、科目概要を理解する。 (復習)授業ノートを整理する。その他のヴァナキュラーな住宅の事例を調べる。	30 90	主体性 実行力 課題発見力 規律性
2週 /	住まいを記述する 設計図書の種類と図面の読み方について学ぶ。	講義 演習	簡単な平面図を読むことができる。	(予習)配布資料を読んで次の授業内容を確認する。 (復習)授業ノートを整理する。身近にあるさまざまな間取り図を読んでみる。	90 90	主体性 実行力 規律性
3週 /	日本の住まい 日本の伝統的な住まいの特長を知る。	講義	日本の伝統的な住まいの特長のいくつかを説明できる。	(予習)配布資料を読んで次の授業内容を確認する。 (復習)授業ノートを整理する。	90 90	主体性 実行力 課題発見力 規律性
4週 /	住まいの近代化(その1) 明治期以降の住宅改善の流れを辿る。	講義	社会の近代化と関連付けながら住生活の変化を理解できる。	(予習)配布資料を読んで次の授業内容を確認する。 (復習)授業ノートを整理する。	90 90	主体性 実行力 課題発見力 規律性
5週 /	住まいの近代化(その2) 戦後のnLDKの成立までの流れを辿る。	講義	戦後の家族像と関連付けて住生活の変化を理解できる。	(予習)配布資料を読んで次の授業内容を確認する。 (復習)授業ノートを整理する。	90 90	主体性 実行力 課題発見力 規律性
6週 /	住まいの近代化(その3) 前2回で学習した日本の住まいの伝統的な特徴と、住まいの近代化についての講義内容をビデオで確認していく。	講義 ビデオ鑑賞	ビデオの内容を前2回の講義内容と対応させて理解できる。	(予習)配布資料を読んで次の授業内容を確認する。 (復習)レポートを作成する。	90 120	主体性 実行力 課題発見力 発信力 規律性
7週 /	ヒトと住まいのスケール 住まいの大きさと人体寸法の関係について考える。	講義 実習	住まいの大きさと人体寸法の関係性が理解できる。	(予習)配布資料を読んで次の授業内容を確認する。 (復習)授業ノートを整理する。	90 90	主体性 実行力 課題発見力 規律性
8週 /	住まいの計画 間取りの基本について知る。	講義	生活や家族の形態との関係から間取りの類型を理解できる。	(予習)配布資料を読んで次の授業内容を確認する。 (復習)授業ノートを整理する。	90 90	主体性 実行力 課題発見力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	快適な住まい 快適に住むために必要とされる条件について考える。	講義	外部環境制御と内部環境調整から快適な住まいを理解できる。	(予習)配布資料を読んで次回の授業内容を確認する。 (復習)授業ノートを整理する。	90 90	主体性 実行力 課題発見力 規律性
10週 /	安全な住まい(その1) 住まいの災害安全性、事故安全性について学ぶ。	講義	災害や事故に対して安全な住まいであるための条件が理解できる。	(予習)配布資料を読んで次回の授業内容を確認する。 (復習)授業ノートを整理する。	90 90	主体性 実行力 課題発見力 規律性
11週 /	安全な住まい(その2) 家屋の構造の種類とそれぞれの構造の特長を学ぶ。	講義	家屋の構造の種類とそれぞれの構造の特長を理解できる。	(予習)配布資料を読んで次回の授業内容を確認する。 (復習)授業ノートを整理する。	90 90	主体性 実行力 課題発見力 規律性
12週 /	ヒトの寿命と住まいの寿命 ファミリーライフサイクル、住宅の耐用年数とそれによって発生する住要求について学ぶ。	講義	家族や住まいを経時的に変化するものとして捉え、そこで発生する問題への対応を理解できる。	(予習)配布資料を読んで次回の授業内容を確認する。 (復習)授業ノートを整理する。	90 90	主体性 実行力 課題発見力 規律性
13週 /	住まいができるまで 住宅が完成するまでの流れを知る。	講義	計画から竣工に至る一連のプロセスを理解できる。	(予習)配布資料を読んで次回の授業内容を確認する。 (復習)授業ノートを整理する。	90 90	主体性 実行力 課題発見力 規律性
14週 /	住まいに関する規定 住まいに関する法的基準、規定について学ぶ。	講義	「単体規定」と「集団規定」それぞれの意味を理解できる。	(予習)配布資料を読んで次回の授業内容を確認する。こ (復習)これまでの授業内容からレポートを作成する。	90 90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 規律性
15週 /	これからの住まい 生活スタイルの多様化に対応した住まいのあり方を知る。 建築家たちによる住まい方の提案の事例について知る。	講義 グループディスカッション	これからの家族やコミュニティのあり方について考えられる。	(予習)配布資料を読んで次回の授業内容を確認する。 (復習)これまでの授業内容を復習し、期末試験のための準備を行う。	90 120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力